

令和4年度 森林環境譲与税の使途

事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績	税導入の効果（総括）
		うち令和3年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）				
① 意向調査の準備作業、森林整備の準備	森林情報整備事業	3,663	3,663			適正な森林情報の管理・運用のため森林GIS及び林地台帳データの整備・更新及びシステム保守。		令和4年度は森林整備の優先度の高い地域の森林所有者への今後の森林管理に関する意向調査と対象となる森林の調査を実施した。今後、この結果を基に森林経営管理制度による森林整備を実施するための計画を策定していく。 また、令和2年度に急激に被害が拡大したナラ枯れ被害について、令和4年度も補助事業も実施したことで、被害木の倒木等による被害や更なる被害拡大を防ぎ、森林の公益的機能の維持に寄与した。 あわせて、手入れが行き届いていない森林を皆伐・再造林することで、インフラ施設への被害を防ぎ、かつ、良好な自然環境を創出するための事業を行った。 林道の維持管理については、豪雨等により洗堀した路面等の修繕や橋梁の補修を実施したことで、車両等の通行の安全を図り、適正な森林管理のための環境整備を行った。 普及事業については、市内の木材関連団体が行う県産材の贈呈等の普及啓蒙活動の実施したことに加え、市民に木の良さや森林資源の循環利用について理解を深め木材の利用や地産地消を推進していくことを目的に、市産材の愛称とロゴマークを決定した。今後、これらを活用し、木育や森林資源の循環利用の推進等を図っていく。
② 意向調査、集積計画等作	森林経営管理事業	2,000	2,000			森林の現況調査や森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査及び森林調査を実施。	実施面積 約19ha	
③ 私有林整備	樹種転換推進事業	994	994			手入れが行届かない森林について、広葉樹等を主体とした森林に転換することにより、インフラ施設への被害を防ぎ、かつ、良好な自然環境を創出するため、所有者に代わって市が事業を実施。	皆伐 0.18ha 植林は次年度実施	
③ 私有林整備	森林整備補助事業	1,991	1,991			森林の多面的機能の維持増進等を目的として市内森林の整備を促進するため、人工造林、間伐等の事業を行う者に対する補助を行う。	間伐面積 1.8ha 作業道延長 467m	
③ 私有林整備	私有林等整備事業	3,432	3,432			豪雨等により被害を受けた森林、または、周辺に土砂等が流出した森林について、風倒木等の処理及び将来の被害を軽減するための立木伐採等の森林整備の実施。	風倒木処理等 600㎡	
④ 公有林整備（財産区有林含む）	緑地等保全事業	2,613	2,613			危険木や倒木の処理、立木の枝打ち、刈払いなど森林を適正に保全するための管理を実施。	危険木伐採 19本 枝打ち 10本 刈払い 1.6ha	
⑤ 森林保護対策	ナラ枯れ対策事業	5,464	5,436		28	ナラ枯れ被害により枯損し、倒木、落枝等により人身又は家屋等への重大な被害を及ぼす危険性の高い樹木の伐採及び病虫害の駆除を実施する者に対して、補助金を交付。	伐採駆除処理本数 432本	
⑥ 林道・林専道の整備等	林道維持管理事業	3,781	3,047		734	森林整備に必要な林道及び林道施設（橋梁）の維持修繕の実施。	維持管理 1,050m	
⑯ その他（木材・普及啓発関係）	木材普及事業	500	500			商工会、市木材協同組合、御殿場建築業組合が連携して行う、市内に住宅を新築する市民に対し県産材を贈呈及び職人技のPR活動等の事業へ助成。		
⑯ その他（木材・普及啓発関係）	市産材普及啓発事業	676	676			市民に地元木材に興味や愛着を持ってもらい、木の良さや森林資源の循環利用について理解を深め木材の利用や地産地消を推進していくため、市内の小学生と高校生から愛称とロゴマークを募集し、決定した。		